科目名	英語	講師	非常勤講師
履修時期	1年　前期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

英語は世界共通言語である。看護の場は多様化しており、外国人が看護の対象となったり外国人医療者と協働することもある。共通言語として英語を用いてコミュニケーションを図れることが必要とされる。
また対象が受ける治療を選択し自己決定を促進するためには、英語が頻出する内容の理解に努め、対象に説明をすることもある。
看護職は自己研鑽や研究の為、海外の学会参加や、論文を閲覧・作成することがあり、英語に慣れ親しんでおくことが望ましい。英語の基本的な会話の習得をはじめ、様々なツールによるコミュニケーションスキルを身に着けてほしい。

学習目標	会話表現を中心に実際に英語の基礎を再確認しながら、看護の場で役立つ用語や英語表現を学
学習内容	看護の場を想定し、必要な単語・用語・英語表現、会話を学ぶ。一回の授業で一つのユニットを扱い進めていく。ロールプレイで繰り返し練習し、実際に使えるようになる。言語の本質は音であるから、音をよく聴くと共に各自がしっかり発音しながら表現を覚えて欲しい。 授業計画は以下のとおりである。 第1回　Unit1（急に英語で話しかけられた時の応対 第2回　Unit2（自己紹介等、基本的な質問と答え方） 第3回　Unit3（丁寧な質問の仕方） 第4回　Unit4（初診の患者への基本的な質問） 第5回　Unit5（道順の尋ね方と答え方） 第6回　Unit6（症状の尋ね方①、症状を表す単語） 第7回　Unit7（症状の尋ね方②、人体各部の名称） 第8回　Unit8（病歴の尋ね方、病気の名称） 第9回　Unit9（薬の服用に関する表現、薬の名称） 第10回　Unit10（予約の取り方、検査の名称） 第11回　Unit１１（手術に関する表現） 第12回　Unit12（入院患者によくする質問） 第13回　復習　（基本的な表現） 第14回　復習　（基本的な用語） 第15回　試験
授業形態	テキストに沿った授業
評価方法および評価の観点	授業参加、小テスト（毎時間）、終講テストの結果を総合して評価する
テキスト	クリスティーンのやさしい看護英会話　（医学書院）
参考資料・図書	特に指定しない
履修上の留意事項・受講条件	単語調べをし、重要文は暗誦できるように努力すること